

平成 16 年 3 月 15 日  
株式会社 新生銀行  
(コード番号:8303)

## 新生サービサーの住宅ローン・プライマリー・サービサー格付け取得について ～S&Pが「能力が高い」と評価～

当行連結子会社である新生サービサー(商号:新生債権回収株式会社)は、スタンダード&プアーズ(以下、S&P)より、住宅ローン・プライマリー・サービサーとして、5段階評価の上位から2番目にあたる「能力が高い」(アウトルック:安定的)との格付けを取得しました。法務大臣認可のサービサーが住宅ローン・プライマリー・サービサーとして、「セレクトサービサー(\*)」となるのは同社が初めてとなります。

今回の格付けは、同社の住宅ローンのプライマリー・サービサーとしての債権管理実績、社内体制・システムを含めたサービシング能力、委託者に対するレポート能力などが高く評価されたものです。

証券化業務において、サービシング機能は不可欠なものでありますが、当行は、同社のサービシング機能を活用し、自らの証券化業務のみならず、グループ外の証券化案件の受託など、ビジネスの拡大を図ってまいります。

S&Pの発表資料(2004年3月15日付)については、別添をご参照ください。

\* S&Pの「サービサー評価」の5段階評価において、3番目の「能力が十分である」以上を取得したサービサー

### 【新生サービサーの概要】

商号 : 新生債権回収株式会社  
本店所在地 : 東京都千代田区内幸町二丁目1番8号  
設立年月日 : 平成13年10月19日  
営業許可 : 平成14年1月21日 法務大臣許可 第63号  
資本金 : 5億円  
代表者 : 取締役社長 後藤 武彦  
住宅ローン  
受託債権残高 : 約3,860億円(含むバックアップサービシング)

以 上

# STANDARD & POOR'S

## プレス・リリース

### ストラクチャード・ファイナンス格付け

2004年3月15日

お問い合わせ先：

村上和聡、東京 電話 03-3593-8673

近藤健志、東京 電話 03-3593-8590

小林誠（ストラクチャードファイナンス、業務開発）、東京 電話 03-3593-8307

田辺敏子（メディア・コンタクト）、東京 電話 03-3593-8411

プレスルーム（電子メールによる配信、送信トラブル）

電話 03-3593-8411 Fax 03-3593-8740

電子メール [tokyo\\_pressroom@standardandpoors.com](mailto:tokyo_pressroom@standardandpoors.com)

日本語ウェブサイト <http://www.standardandpoors.co.jp>

## S&P、新生サービサーを住宅ローン・プライマリー・サービサーとして「能力が高い」に

### 新規評価

#### 新生債権回収株式会社

#### 住宅ローン・プライマリー・サービサー

能力が高い      サービス評価<sup>(\*)</sup>

アウトルック：安定的

（2004年3月15日、東京=S&P）スタンダード&プアーズは本日、新生債権回収株式会社（新生サービサー）に対して住宅ローン・プライマリー・サービサーの評価として「能力が高い」（アウトルック：安定的）を付与した。これにより同社は11社目の「セレクトサービサー<sup>(2)</sup>」となる。法務大臣から認可を受けたサービサーが住宅ローン・プライマリー・サービサーとして「セレクトサービサー」となるのは同社が初めて。

新生サービサーは、2001年10月に設立された新生銀行グループのサービサーである。同社は、サービサー法に基づく業務を行うことを目的に、2002年1月、法務大臣から63番目のサービサーとしての認可を取得しており、社内には不動産担保付不良債権を取り扱い、スペシャル・サービシング業務を行うアセットマネジメント部もある。

現在は、リテールローン部が、新生銀行が外部から購入し、証券化している多数の住宅ローンプールのプライマリー・サービシング業務およびバックアップサービシング業務を担当している。現在のところ、新生サービサーは、第三者がオリジネートした住宅ローンについて、相当な規模でプライマリー・サービシング業務を遂行している日本で唯一のサービサーであると思われる。

サービサーの評価は、以下の点を総合的に判断し決定された。

- プライマリー・サービサーとしての債権管理実績
- 経営陣と担当者の業務経験

- 社内で規定されている業務推進手順の綿密さ
- 今後の業務展開計画
- 内部監査の実施状況・結果
- 社内研修制度
- データのバックアップなどを含む災害時の復旧計画
- 業務運営をサポートしているコンピューターシステム
- 証券化案件におけるサービシング経験
- 第三者からのサービシング業務受託体制
- 資金管理の方法
- 委託者に対するリポーティング能力
- 顧客サービス体制
- 延滞債権の管理体制

アウトルックは「安定的」である。当面は、新生銀行との業務提携の下、住宅ローンのプライマリ・サービシング業務の拡大に注力すると思われるが、今後は、新生銀行グループ外からの業務の受託も期待される。スタンダード&プアーズは、新生サービサーの計画の進捗状況、並びに、サービシング業務に対する投資家・委託者、マーケットの期待への対応姿勢に注視していく。

(\*)「サービサー評価」：種々の債権の回収に携わるサービサーのサービシング能力に対する、スタンダード&プアーズの客観的かつ総合的な評価。「能力が極めて高い」「能力が高い」「能力が十分である」「能力に不十分な点がある」「能力が不十分である」の5段階で評価される。

(2)「セレクトサービサー」：上記のサービサー評価において、3番目の「能力が十分である」以上を取得したサービサー。

スタンダード&プアーズは、マグローヒル・カンパニーズの一部門であり、完全に分離・独立した経営体制に基づき、世界の金融市場に対して金融情報、信用リスク分析および格付けサービスを提供している。当社の提供する数多くの商品には、世界の主要株価指標である S&P Global1200、米国の主要株価指数である S&P500、日本および海外の投資家の投資指標となる S&PJapan500、22 万本以上の有価証券およびファンドの格付けなどがある。現在、世界 18 カ所の拠点で総勢 5,000 名以上のスタッフを擁する。詳細は当社ウェブサイト(www.standardandpoors.co.jp)まで。

マグローヒル・カンパニーズは、スタンダード&プアーズ、ビジネスウィーク、マグローヒル・エデュケーションなどを通じて、金融サービス、教育、ビジネスに関する情報を提供する、国際的な情報サービス企業である。世界 33 カ国に 350 カ所以上の拠点を有しており、2002 年の売上高は約 48 億ドルにのぼる。詳細はウェブサイト(www.mcgraw-hill.com)まで。